

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

ベートーヴェン： 交響曲第9番 ニ短調 作品125 「合唱付き」

BEETHOVEN: Symphony No. 9 in D minor, op. 125 "Choral"

巨匠バーンスタインの薫陶を受け、
ミラノ・スカラ座、ベルリン放送響、
シカゴ響などで活躍するカリスマ

指揮 **ジョン・アクセルロッド**

Conductor= JOHN AXELROD

©marc roger



ソプラノ **中村恵理**
Soprano= ERI NAKAMURA



アルト **藤木大地**
Alto= DAICHI FUJIKI



テノール **小堀勇介**
Tenor= YUSUKE KOBORI



バス **妻屋秀和**
Bass= HIDEKAZU TSUMAYA

読売日本交響楽団 第243回土曜マチネーシリーズ

2021 **12.18** (土) 14:00 東京芸術劇場
Saturday Matinée Series No. 243 / Saturday, 18 December 2021, 14:00 Tokyo Metropolitan Theatre
S¥9,700 A¥7,600 B¥6,100 **SOLD OUT**

読売日本交響楽団 第243回日曜マチネーシリーズ

2021 **12.19** (日) 14:00 東京芸術劇場
Sunday Matinée Series No. 243 / Sunday, 19 December 2021, 14:00 Tokyo Metropolitan Theatre
S¥9,700 A¥7,600 B¥6,100 C¥4,600

読売日本交響楽団「第九」特別演奏会

2021 **12.20** (月) 19:00 東京芸術劇場
Special Concert / Monday, 20 December 2021, 19:00 Tokyo Metropolitan Theatre
S¥9,700 A¥7,600 B¥6,100 C¥4,600

読売日本交響楽団 SHINRYO Presents「第九」特別演奏会

2021 **12.22** (水) 19:00 サントリーホール
SHINRYO Presents Special Concert / Wednesday, 22 December 2021, 19:00 Suntory Hall
S¥9,700 A¥7,600 B¥6,100 **SOLD OUT**

読売日本交響楽団 第648回名曲シリーズ

2021 **12.23** (木) 19:00 サントリーホール
Popular Series No. 648 / Thursday, 23 December 2021, 19:00 Suntory Hall
S¥9,700 A¥7,600 B¥6,100 **SOLD OUT**

※20日、22日のみ、前半に中田恵子によるオルガン演奏(約15分)を行います。



オルガン **中田恵子**
Organ= KEIKO NAKATA



合唱 **新国立劇場合唱団** (合唱指揮=富平恭平)
Chorus= New National Theatre Chorus (Chorusmaster= KYOHEI TOMIHIRA)

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター **0570-00-4390** (10時~18時 年中無休)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/> *座席選択可 *チケット郵送料無料

※東京芸術劇場のみ一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター 0120-415-306 (予約受付: 平日9時-17時) ■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を退くことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、感染予防対策にご協力をお願いいたします。

<https://yomikyo.or.jp/>

クラシック音楽の最高傑作 心に響きわたる《歓喜の歌》

クラシック音楽の歴史に燦然と輝く不朽の名作、ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」。最終楽章で高らかに響く「歓喜の歌」は、年末の日本を彩る風物詩としても親しまれています。「第九」には、国境を越え、世代を超えて、多くの人に感動をもたらす特別な魅力があります。世界が困難に立ち向かう今、「第九」は人々の心に寄り添い、新しい年への希望として響くでしょう。

今年の「第九」公演、指揮には巨匠バーンスタインの薫陶を受け、カリスマ性のある音楽作りで国際的に活躍する俊英アクセルロッドが登場します。シカゴ響、バイエルン放送響など世界の著名な楽団を振り、ミラノ・スカラ座などの歌劇場でも活躍するマエストロです。

バイエルン国立歌劇場など世界各地で活躍する中村恵理をはじめ、国際的に活躍する独唱陣、日本が誇るプロ合唱団の新国立劇場合唱団とともに、読響がお届けする至福のひと時をご堪能ください。

指揮 ジョン・アクセルロッド

Conductor= JOHN AXELROD

©AltaRisoluzione

バーンスタインの薫陶を受け、カリスマ性のある音楽作りで国際的に活躍する俊英。スイスの名門ルツェルン響及び歌劇場、フランス国立ロワール管、スペイン王立セビリア響の音楽監督、ミラノ・ヴェルディ響の首席客演指揮者などを歴任し、2020年から京響首席客演指揮者を務めている。シカゴ響、バイエルン放送響、北ドイツ放送響、ロサンゼルス・フィル、ベルリン放送響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、パリ管、ロンドン・フィル、ドレスデン・フィル、フランス国立リヨン管、フィルハーモニア管など150以上の世界各地の楽団を指揮。オペラでも活躍しており、ミラノ・スカラ座をはじめ、パリ・シャトレ座、ブレゲンツ音楽祭、ローマ歌劇場などに出演し、好評を博している。今回、読響に初登場。

ソプラノ 中村恵理

Soprano= ERI NAKAMURA

世界の一流歌劇場で活躍する歌姫。新国立劇場オペラ研修所を経て、2008年英国ロイヤル・オペラにデビュー。10年から16年にバイエルン国立歌劇場と専属契約し、「フィガロの結婚」「魔笛」「ホフマン物語」などで主要キャストを務める。これまでにウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ワシントン・ナショナル・オペラ、ザルツブルク州立歌劇場、新国立劇場などに出演している。

アルト/カウンターテナー 藤木大地

Alto/Countertenor= DAICHI FUJIKI Chirumasa

日本が世界に誇る国際的なカウンターテナー。古典派から現代作品まで幅広いレパートリーで活躍している。2013年ボローニャ歌劇場にて欧州デビュー。17年にウィーン国立歌劇場に鮮烈にデビューを果たし、一躍世界から注目を浴びた。20年の新国立劇場「夏の夜の夢」、パッサ・コレグウム・ジャパン「リナルド」で称賛され、21年の新国立劇場「スーパーエンジェル」の主役でも話題を呼んだ。

テノール 小堀勇介

Tenor= YUSUKE KOBORI

瑞々しい歌声で、注目を浴びる新星。イタリア在学中にベザロのアカデミア・ロッシニアナに参加。A.ゼツダの下で研鑽を積む。チロル祝祭歌劇場、メドック音楽祭、パチカン音楽祭などに出演。静岡国際オペラコンクール入選・三浦環特別賞、日本音楽コンクール優勝など受賞多数。藤原歌劇団「愛の妙薬」「ランスへの旅」などで好評を博した。読響とは2019年「第九」以来、2度目の共演。

バス 妻屋秀和

Bass= HIDEKAZU TSUMAYA

温かみのある深い声を持つ、日本を代表するバス歌手。1994年から2001年までライプツィヒ歌劇場、02年から11年までワイマール国民劇場の専属歌手を務めた。ベルリン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、新国立劇場などに客演し、幅広いレパートリーで国際的に活躍している。読響とは「第九」で数多く共演するほか、17年「アッシジの聖フランチェスコ」でも好評を博した。二期会会員。

オルガン 中田恵子

Organ= KEIKO NAKATA

国内外で活躍する俊英オルガニスト。東京女子大学文学部卒業後、東京芸術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程を修了。渡仏し、パリ地方音楽院で研鑽を積み、最優秀演奏家課程を修了。2013年のアンドレ・マルサン国際コンクールで優勝。欧州やロシアでツアーを行うなど、国際的に活動を展開している。19年にデビューCD「Joy of Bach」をリリース。

合唱 新国立劇場合唱団

(合唱指揮=富平恭平)

Chorus= New National Theatre Chorus
(Chorusmaster= KYOHEI TOMIHIRA)

至高のハーモニーで人類愛を歌う、読響「第九」のベスト・パートナー。新国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を展開し、高い評価を得ている。2007年以来、読響「第九」公演に出演。今回は約40名の出演予定。

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。現在、セバスティアン・ヴァイグレが常任指揮者を務めている。サントリーホールや東京芸術劇場などで多数の公演を開催するほか、小中学校や病院で演奏するなど、クラシック音楽ファンのすそ野拡大にも地道な努力を続けている。

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター: 0570-00-4390

(10:00~18:00・年中無休)

読響チケットWEB: <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可 *チケット郵送料無料

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 (18日・19日)

特別協賛: 新菱冷熱工業株式会社 (22日)

協賛: NTTコミュニケーションズ株式会社 (20日)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会 (18日・19日・23日)、

文化庁子供文化芸術活動支援事業 (20日)

事業提携: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 (20日)